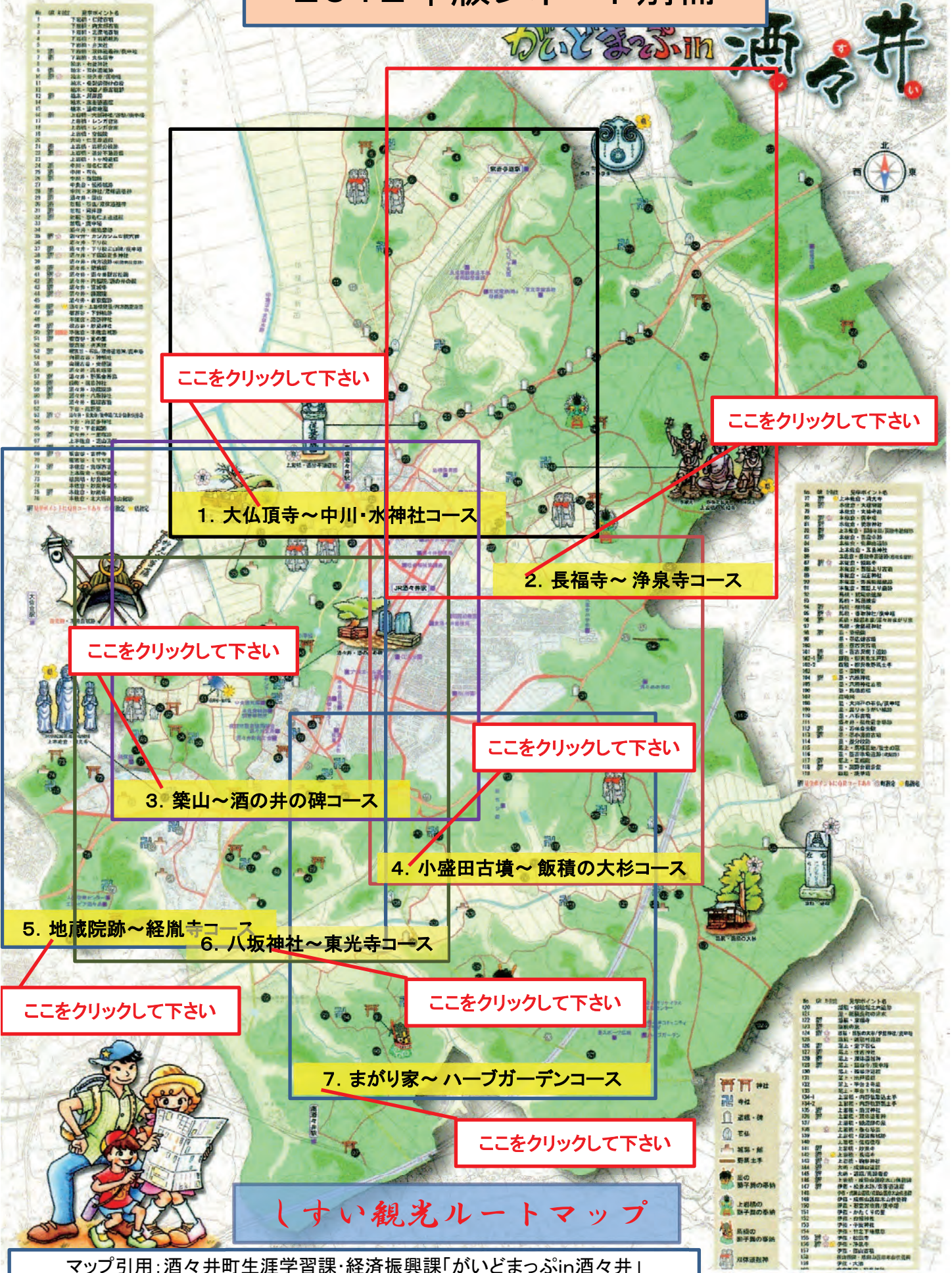


# がいでまっぷin酒々井



ここをクリックして下さい

ここをクリックして下さい

1. 大仏頂寺～中川・水神社コース

2. 長福寺～浄泉寺コース

ここをクリックして下さい

ここをクリックして下さい

3. 築山～酒の井の碑コース

4. 小盛田古墳～飯積の大杉コース

5. 地蔵院跡～経胤寺コース

6. 八坂神社～東光寺コース

ここをクリックして下さい

ここをクリックして下さい

7. まがり家～ハーブガーデンコース

ここをクリックして下さい

しすい観光ルートマップ

マップ引用: 酒々井町生涯学習課・経済振興課「がいでまっぷin酒々井」



77	酒々井町立 酒々井中学校
78	酒々井町立 酒々井小学校
79	酒々井町立 酒々井幼稚園
80	酒々井町立 酒々井保育園
81	酒々井町立 酒々井児童館
82	酒々井町立 酒々井公民館
83	酒々井町立 酒々井図書館
84	酒々井町立 酒々井生涯学習センター
85	酒々井町立 酒々井健康センター
86	酒々井町立 酒々井スポーツセンター
87	酒々井町立 酒々井老人センター
88	酒々井町立 酒々井子育て支援センター
89	酒々井町立 酒々井障害者センター
90	酒々井町立 酒々井福祉センター
91	酒々井町立 酒々井高齢者センター
92	酒々井町立 酒々井障害児センター
93	酒々井町立 酒々井障害者就業センター
94	酒々井町立 酒々井障害者生活支援センター
95	酒々井町立 酒々井障害者相談センター
96	酒々井町立 酒々井障害者学習センター
97	酒々井町立 酒々井障害者スポーツセンター
98	酒々井町立 酒々井障害者文化センター
99	酒々井町立 酒々井障害者芸術センター
100	酒々井町立 酒々井障害者音楽センター
101	酒々井町立 酒々井障害者ダンスセンター
102	酒々井町立 酒々井障害者演劇センター
103	酒々井町立 酒々井障害者映画センター
104	酒々井町立 酒々井障害者漫画センター
105	酒々井町立 酒々井障害者アニメーションセンター
106	酒々井町立 酒々井障害者ゲームセンター
107	酒々井町立 酒々井障害者インターネットセンター
108	酒々井町立 酒々井障害者パソコンセンター
109	酒々井町立 酒々井障害者スマートフォンセンター
110	酒々井町立 酒々井障害者タブレットセンター
111	酒々井町立 酒々井障害者ウェアラブルセンター
112	酒々井町立 酒々井障害者ロボットセンター
113	酒々井町立 酒々井障害者ドローンセンター
114	酒々井町立 酒々井障害者VRセンター
115	酒々井町立 酒々井障害者ARセンター
116	酒々井町立 酒々井障害者MRセンター
117	酒々井町立 酒々井障害者XRセンター
118	酒々井町立 酒々井障害者元宇宙センター
119	酒々井町立 酒々井障害者デジタルセンター
120	酒々井町立 酒々井障害者未来センター



京成宗吾参道駅から  
1.大仏頂寺～中川・水神社  
コース

ここをクリックして下さい

順	路	京成 宗吾参道駅	4 下岩橋城跡	7 下岩橋・ 大仏頂寺	8・9 柏木・ 七社神社
		～	～	～	～
		大仏頂寺迄15分	歩きながら遠景を望む	弘法の滝 3分	柏木双体道祖神 15分
6		下岩橋 双体道祖神	10 柏木 新光寺	16 上岩橋 大鷲神社	26 中川 西蔵院
		～	～	～	～
		25分	六地藏 25分	庚申塔 15分	六地藏 7分
		28 中川・ 双体道祖神	～	京成 酒々井駅	
		6分	～	5分	
		～	～	～	30 新堀石仏群 双体道祖神

備考: 7大仏頂寺の「弘法の滝」は、「眼病を治し」、「母乳を増す」と伝えられています。如何ですか？

※ 引用・参考資料

マップ引用: 酒々井町社会教育課・経済振興課「がいどまっぷin酒々井」

ルート参考: 酒々井町教育委員会「わたしたちの酒々井町」

# 1.大仏頂寺～中川・水神社コース

## 4 下岩橋城跡ーしもいわはしじょうあと

『岩橋殿』と呼ばれた千葉輔胤が「千葉介」を継承して本佐倉城に入る前に住んだともされる城。康生2年(1456)、千葉宗家を滅ぼした馬加康胤・胤持親子が幕府軍の東常縁によって敗死すると、康胤の庶長子(養子ともいわれる)輔胤ら公方派は平山城ほか下総国内に分散して幕府軍に対抗した。常縁は同行した浜式部少輔春利を東金城に移し、自身は東庄に戻った。一方で古河公方足利成氏は千葉胤賢(胤直の弟)の子自胤・実胤の拠る市河城(国府台城?)を攻撃してこれを占拠、以後は膠着状態が続いた。やがて京で応仁の乱が勃発すると常縁は美濃国に帰還。以後は馬加系千葉氏の勢力が増し、輔胤から孝胤、勝胤と千葉介を継承していく。



## 7 下岩橋大仏頂寺ーしもいわはし だいぶつちょうじ



本堂



弘法の滝



舌出しの鈴(古鐸)



本尊大日如来

岩橋山成就院大仏頂寺、真言宗智山派知積院の末寺、本尊は大日如来。大同二(807)年、弘法大師の開基と伝わります。佐倉五か寺の一つで千葉氏所縁の寺でした。江戸時代には真言宗の学問所が置かれ、幕府から御朱印十石を認められています。境内東隅に「弘法の滝」があり、眼病を治し、母乳を増すと信仰されています。また寺宝の「舌出しの古鐸(鈴)」は弘法大師所持とされている密教用具で中国西域からの伝来品です。毎年2月21日の大師御影供(だいしみえいく)が催されるときに「ご開帳」されます。



六地藏

## 8 柏木・七社神社 かしわぎ ななしゃじんじゃ

享保五年創建、神社入口には享和二年(1802)と昭和八年に造立された双体道祖神がある。双体道祖神は千葉には珍しいものであり酒々井町には九組あり、そのうち二組が柏木にあります。



9 柏木・七社神社 双体道祖神 —かしわぎ ななしゃじんじ  
や そうたいどうそじん



二体の双体道祖神が七社神社の前に並ぶ、向って左に享和二(1802)年、柏木村が建立した像、高さ60cm。右は昭和8(1933)年に柏木区が建てた像、高さ60cm。

6 下岩橋の双体道祖神 —しもいわはしそうたいどうそじん



双体道祖神が庚申塔と隣り合  
い祀られています。銘文は彫られ  
ていませので年代などは不明  
です。高さ43cm。向かって右側  
の石碑に見える石仏も双体道祖  
神です。

10 柏木新光寺 —かしわぎ しんこうじ



真言宗大仏頂寺末寺、本尊は  
大日如来。開基は不明、境内入  
り口に宝暦三(1753)年銘の  
六地藏(町指定文化財)があり  
ます。境内の奥に聖徳太子像と  
伝わる室町時代後期の木造童  
子立像(町指定文化財)が祀ら  
れています。

16 上岩橋大鷲神社 —おおわしじんじや



大鷲地区の鎮守、天日鷲命(あめのひわしのみこ  
と、開拓・殖産の神)を祀ります。毎年4月の第一  
日曜日に獅子舞が奉納されています。大鷲神社は  
丸い塚の上に鎮座しますがこの塚は低地古墳と呼  
ばれる珍しい古墳で4世紀頃に築かれたと考えら  
れています。昭和58年に古墳の副葬品である「石  
枕」が発見されています。

## 26 中川西蔵院 —なかがわ さいぞういん



西蔵院



六地藏

瑠璃光山西蔵院、**真言宗文殊寺(廃寺)末寺**、現在は真言宗吉祥寺末寺、本尊は地藏菩薩。**創建**は中川地区が開発された**慶長年間**と伝わります。昭和42(1967)年に火災に遭い焼失、類焼を免れたのは延命地藏だけでした。また中川地区で行なわれていた**獅子舞の頭と獅子太鼓が保管**されています。

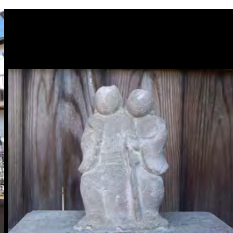
## 30 新堀の双体道祖神—しんぼりの そう

たいどうそじん



**宝歴八年(1758)に小別当(こべつとう)氏により像立**された双体道祖神、小別当氏は戦国時代千葉氏に仕えた土木技術者と伝わる家。高さ47cm。**関東には非常に珍しい2体1対の双体道祖神**が町の数箇所に存在しています。なぜ酒々井町にその**珍しい双体道祖神**が存在するのか、詳しいことは未だに解明されていません。

## 28 中川の双体道祖神 —なかがわのそうたいどうそじん



**小さな小さな双体道祖神**、もと中川・新堀境の三叉路に所在していましたが道路拡幅により、水神社に移しました。年代不詳、高さ**20cm**。

注：「酒々井町観光ナビ（酒々井町ホームページ）」引用・参照

「しすいの歩き方（酒々井町商工会）」引用・参照

[全体マップに戻る](#)

JR酒々井～京成宗吾参道駅

## 2. 長福寺～浄泉寺 コース

歩行時間 2時間40分  
歩数 9500歩

ここをクリックして下さい



### 順路

JR酒々井駅	141上岩橋 妙楽寺	142上岩橋 長福寺	135・136上岩橋 菊賀神社・双体道祖神	143上岩橋 駒形神社
～	20分	10分	10分	25分
146上岩橋 成田山護摩木山供養塔	147上岩橋・ 松並木/宗吾道道標	148・149伊sehara 成田山護摩木山供養塔	153伊sehara 子安神社	～
145馬頭観音	5分	10分	5分	
152伊sehara ～ 白旗神社	156伊sehara ～ 浄泉寺	155伊sehara ～ 松雲寺	150伊sehara 石堂古墳群/庚申塔	～ 京成宗吾参道駅
5分	15分	10分	10分	25分

備考:135 菊賀神社は急な階段を上ります。注意してください。階段下に 136双体道祖神が中睦しく寄り添っています。

※ 引用・参考資料

マップ引用:酒々井町社会教育課・経済振興課「がいどまっぷin酒々井」

ルート参考:酒々井町社会教育委員会「わたしたちの酒々井町」

## 2. 長福寺～浄泉寺コース

### 1 4 1 上岩橋・妙楽寺ーかみいわはし みょうらくじ



常清山妙楽寺、日蓮宗中山法華寺の末寺、本尊は日蓮聖人の大曼荼羅。開基は天文十三(1544)年、本佐倉城主千葉利胤の御一家、木村出雲守胤重の嫡男、加賀守胤綱で開山は中山法華寺第十世日かん[漢字は『イ(にんべん)』に『完』と伝わっています。本堂・庫裏とも江戸時代後期の建物と考えられます。本堂に架けられている半鐘は元文五(1740)年のものです、江戸時代の半鐘は太平洋戦争中に供出され数が少ないため貴重な半鐘です。

### 1 4 2 上岩橋・長福寺ーかみいわはし ちょうふくじ



阿弥陀山長福寺、真言宗智山派大仏頂寺の末寺。本尊は阿弥陀如来。かつては三間四面の阿弥陀堂・客殿・庫裏があったといひます。本尊の阿弥陀如来は平安時代末期(12世紀)の作で下総地方における阿弥陀仏の好例です。また脇侍仏の木造持国天は平安時代末期(12世紀)・多聞天立像は鎌倉時代(13世紀後半)の作とされ、三体とも昭和46年に県指定文化財となっています。

### 1 3 5・1 3 6 上岩橋・菊賀神社

双体道祖神ーかみいわはし きくがじん  
じゃ そうたいどうそじん



上岩橋・菊賀神社(かみいわはし きくがじんじゃ)

上岩橋の上郷地区の鎮守、詳細は不明、菊理姫命(くくりひめのみこと)を祀ります。菊理姫命は縁結び、農業の女神様とされています。毎年4月の第一日曜日に獅子舞が奉納されています、演目は「とおし」、「しらは」、「弓くぐり」などがあり昭和46(1971)年、町の指定文化財となっています。

上岩橋・双体道祖神(かみいわはしのそうたいどうそじん) 菊賀神社の石段下の脇に祀られています。年号などの文字は確認できません。高さ43cm、幅26cm。



双体道祖神

### 1 4 3 上岩橋・駒形神社 獅子舞ーかみいわはし こまがたじんじゃ

**上岩橋・駒形神社** 上岩橋の上郷地区の鎮守、稚産霊命(わかむすびのみこと)を主神として祀ります。天文年中、千葉利胤の御一家、**木村加賀守胤綱が創建したと伝わります。駒形神は馬や養蚕の神様**とされていますが、祭神は「麻賀多神社」と同じ稚産霊命(わかむすびのみこと)であることなのは不思議です。**毎年4月の第一日曜日に獅子舞が奉納**されています、演目は「とおし」、「しらは」、「弓くぐり」などがあり昭和46(1971)年、町の指定文化財となっています。



**上岩橋・獅子舞 町無形民俗文化財。**詳細は不詳ですが、江戸時代中期頃から

村の行事として伝承されていたようです。五穀豊穰を祈願するこの行事を春祈祷あるいは豊楽と称して、**毎年4月第一日曜日に駒形神社、菊賀神社、大鷲神社及び上岩橋区長宅で演舞**されます。



### 1 4 5 馬頭観音・道標ーおおさき ばとうかんのん どうひょう



崖の上に馬頭観音堂があります。この馬頭観音は**江戸時代に馬を使った運送業者たちによって祀られていました。**また天保十(1839)年の銘がある**成田山への道標が1基**あります。この道標は石質が良く、佐倉市井野にある鈴木金兵衛の道標と似て俳句が彫られています。

### 1 4 6 上岩橋・成田山護摩木山供養塔ーかみいわはし なりたさんごまきやまくようとう

### 1 4 7 伊篠の松並木跡・宗吾道道標ーいじののまつなみき・そうごどうどうひょう



伊篠の松並木とは国道51号線に沿った旧成田道にあり、**約800mにわたり松並木が存在していました。通称杵之進並木(もくのしなみき)**といわれ、享保年中(1716~35)に**天領代官小宮山杵之進が植樹したと伝えられています。**江戸中期以降、成田山の参詣者に木陰を提供していました。**昭和末期にはすべて枯れてしまいましたが。**現在でも**道標・石碑が残り旧成田道**を伝えています。



148・149伊篠・成田山護摩木山供養塔—いじの なりたさんごまきやまくようとう



152伊篠・白幡神社—いじの  
しらはたじんじゃ



祭礼日 十月十五日  
誉田別命・伊邪那岐命・伊邪那美命 **子安石祠(浮彫り子安像)**  
創立不詳、昔は白幡権現宮と称されていたらしく手洗石に刻まれています。

153伊篠・子安神社—いじの こやすじんじゃ



154伊篠・竹之下地蔵—いじの たけのしたじぞう



156伊篠・浄泉寺(仏樹山 浄泉寺)—いじの じょうせんじ

曹洞宗 寺伝によると**延徳2年(1490年)**、伊篠に所領のあった千葉氏一族**栗飯原豊後守胤光**の開基で常陸杉室大雄院三世**周恩来**和尚の開山となり、はじめは周心院と称し、胤光の法号をとって周心院を浄泉寺と改称した。・酒々井町町史より

室町時代(1495年)建立され、数々の修繕をかさねてきたが老朽のため、昭和50年3月(175年)現本堂が建立された。

本尊 **銅造十一面観音坐像(町指定有形文化財)**

像高28.5センチメートルの小がらな像であるが**室町時代の様式**がよく表現されている。台座の背面に「**妙観禅尼**」の銘があるが、この妙観禅尼は**胤光の母**であったと伝えられている。・酒々井町町史より

文化財 **鑄銅雲版(千葉県指定有形文化財)**

雲版は禅宗の寺院で合図に使用した鳴器である。応永22年(1415年)の銘があり、開山の**周恩来**和尚が持参したものと伝えられている。・酒々井町町史より



浄泉寺本堂



寒山・拾得の図



銅造十一面観音坐像



鑄銅雲版

155 伊籬・松雲寺ーいじの しょううんじ

曹洞宗浄泉寺の末寺であったが廃寺。真言宗智山派京都智積院に属す  
**木造十二神将立像** 小型で、欠落部分もあるが**鎌倉時代の様式を模した室町時代の作**であると伝えられている。正統な仏師の作でなく、修験道の行者が信仰心をもって造像したものと推察され、**形にとらわれない豊かな表情をもっている優れた仏像**である。・酒々井町町史より

**阿弥陀如来坐像(本尊)** 最近の調査で**鎌倉時代の造像**と判明  
案内掲示もなく、農家や畑へ通じる狭い路地の奥に廃寺とはいえ、小さなお堂があり、**回りには古い石仏**もいくつかあって、当時の面影を少しばかり残している。お堂の正面の格子扉を透かして本尊の阿弥陀如来像がみえる。**台座の周り**にある**十二神将立像**と作の年代が異なるかも知れないが、**顔がふっくら**としていて、**表情が豊か**で十二神将像ともつりあいがとれてるように見える。格子の隙間にお赤飯ともち米がさりげなく供えてある。近所の方がいつも気を配って守っている様子が垣間見え、なにかほのぼのとする。



150 伊籬・石堂古墳群/庚申塔ーいじの いしどうこふんぐん こうしんとう



注：「酒々井町観光ナビ（酒々井町ホームページ）」引用・参照  
「しすいの歩き方（酒々井町商工会）」引用・参照

全体マップに戻る



### 3. 築山～酒の井の碑(本佐倉城)コース

<b>順路</b>	京成酒々井駅	29 酒々井・築山	28 中川水神社	35 酒々井・横穴群	46 酒々井・上岩橋貝層
	～	～	～	～	～
	10分	15分	10分	10分	7分
50 本佐倉城跡	49 根古谷妙見神社	53 根古谷石仏	69 根古谷吉祥寺	71 本佐倉鬼塚古墳	
～	～	～	～	～	
双体道祖神	6分	5分	5分	15分	25分
44 酒々井・勝蔵院	42 酒の井の碑	京成酒々井駅			
～	～				
	10分	20分			

備考：本佐倉城跡はもっとも時間をかけて見学してください。事前に「酒々井ふるさとガイドの会」申し込みればガイドも可能です。

※ 引用・参考資料

マップ引用: 酒々井町社会教育課・経済振興課「がいどまっぷin酒々井」

ルート参考: 酒々井町教育委員会「わたしたちの酒々井町」

3. 築山～酒の井の碑コース (本佐倉城コース)

29 - 築山 - つきやま



通称「**桜山**」、この地は資産家であった旧家**木内家の邸内**でした。**明治天皇**が巡行の折に**2回訪れた**ことを記念した碑が建っています。印旛沼、筑波山を眺望できる名勝地です。

28 中川の双体道祖神 - なかがわのそうたいどうそじん



**小さな小さな双体道祖神**、もと中川・新堀境の三叉路に所在していましたが道路拡幅により、水神社に移しました。年代不詳、高さ**20cm**。

35- カンカンム口横穴- かんかんむろ おうけつ



西向きの急斜面に造営された**横穴古墳群**、**七基**があります。一基からは**仏具である青銅碗・直刀・須恵器**が発掘されており、築造年代は**7世紀後半から8世紀初頭**とされています。通称「**カンカンム口**」・「**巖島の隠れ里**」と呼ばれる伝説が伝わっています。町指定文化財。

46- 上岩橋貝層 - かみいわはしかいそう



**約15～20万年前**、この付近が**古東京湾**であったころ堆積してできた**貝層**。成田層下部にあり寒海系の**140種類**の**貝化石**が含まれます。県指定文化財。(上岩橋地区でないのにこの名称?)

50- 本佐倉城跡 - もとさくらじょうあと (49根古屋・妙見神社)



**文明年間(1469～1486年)**に千葉氏の居城として**千葉輔胤(ちばすけたね)**によって**築城**されました。以後百余年、本佐倉城(佐倉城)は**天正十八年(1590)**に豊臣秀吉により**千葉氏が滅ぼされるまで**、**当主九代が居城し下総の中心**として君臨しました。約35haの広大な土地に城跡が良く残っています。重要な文化財として平成10年(1998年)、**国史跡に指定**されました。



上左 本佐倉城全景  
上右 妙見神社  
下 本佐倉城双体道祖神

69- 根古谷吉祥寺 -

ねごや きちじょうじ



仏母山御厩院吉祥寺、真言宗智山派知積院の末寺。本尊は摩耶夫人(まやぶにん)、寺伝では大同二(809)年に弘法大師が鎮護国家のため摩耶夫人の霊像を納め修法し、御摩耶坊と号したと伝わります。千葉氏所縁の寺院で佐倉五か寺の一つに数えられました。本尊は秘仏とされています。本寺には現在、廃寺となっている名刹「文殊寺」の本尊である室町時代初期の木造十一面観音立像(町指定文化財)が安置されています。また絵馬の寺としても有名であるほか、魔三郎石などがあります。

71- 本佐倉鬼塚古墳 -

もとさくら おにづかこふん



古墳時代後期、六世紀後半の前方後円墳、長さ35m、高さ3.5mで埴輪が発見されました。本佐倉周辺には、この前方後円墳を含め6基の古墳があります。

44- 酒々井 勝蔵院 -

しすい しょうぞういん



木造不動明王座像

處宝山勝蔵院長現寺、真言宗文殊寺(廃寺)末寺、現在は真言宗吉祥寺末寺、本尊は不動明王。もと東台不動山(現、中央台3丁目)にあった不動堂を佐倉藩主戸田能登守忠真が父忠昌の遺志を受け継ぎ元禄十二年(1699)に現在の地に移転建立しました。今に残る本堂・木造不動明王坐像(町指定文化財)、仁王像はこの時に造られたものです。



42- 酒の井の碑 -

さけのいのひ



酒々井の地名の起源となったと伝わり、孝子養老伝説として有名である「酒の井」を記念した酒の井の碑があります。この地は円福院神宮寺の境内であり、碑は下総地方に特徴的な室町時代前期の「供養碑(下総形石板碑)」であり梵字「キリーク(阿弥陀如来)」が彫られています。いつのころからか親孝行伝説と酒の井伝説を伝承する碑として伝わっています。



注：「酒々井町観光ナビ (酒々井町ホームページ)」引用・参照

「しすいの歩き方 (酒々井町商工会)」引用・参照

全体マップに戻る



**順路**

JR 酒々井駅	~ 25分	113 墨・ 小盛田古墳	~ 12分	131 尾上・ 出戸道標	~ 5分	130 尾上・ 西谷津道標	~ 8分	129 尾上・ 延命寺
~ 10分	127・128 尾上・ 住吉神社 双体道祖神	~ 15分	126 尾上・ 堂下石仏	~ 12分	124 122 飯積の大杉 伊豆神社 泉福寺	~ 38分	113 墨・ 小盛田古墳	~ 25分
					近道			

JR酒々井駅

備考 124 伊豆神社境内にある大杉。目通り径4.3m、推定樹齢700年の巨木です。町の指定文化財。

**\* 引用・参考資料**

マップ引用: 酒々井町社会教育課・経済振興課「がいどまつぷin酒々井」  
 ルート参考: 酒々井町教育委員会「わたしたちの酒々井町」

#### 4.小盛田古墳～飯積の大杉コース

##### 1 1 3 小盛田古墳ーすみ こもったこふん

南北32m、東西25mの**長方形**をしている古墳で七世紀後半から八世紀初頭にかけて**築造**されたと考えられる長方墳、南側に**横口式石室**が存在しますが、発掘はされていません。長方形の古墳は、**下総地方北部の古墳時代末期**に見られる**特徴的な形状で貴重な遺跡**です。現在は、総合公園内にあります。

この古墳は、総合公園の建設に伴い、確認調査された後に復元整備された。墳丘の形状は平面が長方形で断面は台形、周溝を四方に巡らしており、規模は墳丘の長辺三十メートル、短辺二十三メートル、高さ三メートル、周溝は幅二メートル、深さ二・六メートルを測る。主体部は、箱式石棺が墳丘の南中央に確認されている。  
築造された年代は出土した須恵器より、七世紀末葉から八世紀ごろと考えられ、古墳時代の終末期にあたる。  
本古墳は台地縁部への立地や長方形の形状など終末期古墳の様相を備えており、印旛沼周辺の古墳文化を説明するうえで貴重な遺跡である。



##### 1 3 1 出戸道標ーでどどうひょう



##### 1 3 0 西谷津道標ーにしやつどうひょう



##### 129 尾上・延命寺ーおがみ えんめいじ



稲荷山薬師院延命寺 真言宗文殊寺(廃寺)末寺。**本尊は十一面観音**、江戸時代の末期には廃寺となったといわれます。本寺付近から**10世紀ころの釈迦誕生仏が発見**されています。



##### 128 尾上の双体道祖神ーおがみの そう

たいどうそじん



住吉神社へ上る階段の向かい側に**宝暦5(1755)年に像立**された双体道祖神、**宝暦五年亥三月吉日**と彫られています。高さ44cm。普通地区で祀られているものですが、この双体道祖神は、**門倉家一戸で祀られている珍しいものです。**

127 尾上住吉神社 -おがみえんめいじ



(おがみ すみよしじんじゃ) **尾上区の鎮守、海上交通の神様である住吉神社**を祀っています。尾上地区は江戸時代に馬を使用した運送業が盛んな地区でした。**祭礼には獅子舞が奉納されたと伝えられます。**祭神は底筒之男命(そこづめのおのみこと)、他5神。**お蚕さんの碑**もあり

126 尾上堂下石仏群 -おがみ どうしたせきぶつぐん



高崎川沿いの**街道と内野牧への街道の十字路**にある石仏群。

124 飯積の大杉 -いづみの おおすぎ



**伊豆神社の境内にある大杉は目通り径 4.3m、地元の伝承では樹齢 700 年(推定樹齢 450 年)の巨木**です。酒々井町では酒々井町最大の杉として昭和 46(1971)年に**町の指定文化財**となっています。

124 飯積伊豆神社 -いづじんじゃ



**飯積区の鎮守、火の神、鍛冶の神様**である伊豆神社を祀っています。祭神は、彦火々出見命(ひこほほでみのみこと)、木花咲耶姫命(このはなさくやひめのみこと)、誉田別命(ほんだわけのみこと)。飯積区には**鍛冶作の地名**が残っていますので、かつて鍛冶工房があったのかも知れません。また一緒に祀られている**子安神社**は**安産・子育ての神様**として有名です。

107 飯積の泉 -いづみのいづみ



飯積区の中心にある泉で、伊豆神社の南側に当たります。この場所の**地名も泉**といいます。飯積の地名由来として伝わっています。また泉の西側にある**和泉山泉福寺**には**江戸時代前期の石仏が多く残っています。**現在、整備工事が行われています。

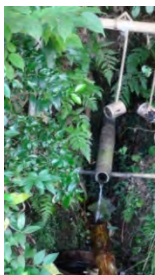
122 飯積泉福寺 -いづみ せんぷくじ



和泉山泉福寺、酒々井区にある真言宗**東光寺末寺**、本尊は**阿弥陀如来**。**江戸後期**にあたる**文化三(1806)年**に**開基**されたと伝わりますが、境内には**江戸時代前期の石仏**が見受けられます。



## 1 2 1 - 飯積長町の湧水ーいづみのゆうすい



注：「酒々井町観光ナビ（酒々井町ホームページ）」引用・参照

「しすいの歩き方（酒々井町商工会）」引用・参照

「成田街道酒々井の歴史散歩(相京晴次著)」引用・参照

[全体マップに戻る](#)

京成酒々井駅から  
5.地蔵院跡～経胤寺 コース

歩行時間 2時間50分  
歩数 18000歩

ここをクリックして下さい



順路	京成酒々井駅	～	59酒々井・地蔵院跡	～	83善龍寺跡	～	72上本佐倉・白山神社	～	75本佐倉・妙胤寺	～	
		30分		20分		20分		5分		10分	
	78本佐倉・大堀切跡	～	80・81本佐倉・庚申塔	～	85上本佐倉五良神社	～	87本佐倉・経胤寺	～	JR酒々井駅		
		15分		40分		0分		30分			

備考  
 83善龍寺から78大堀切に行く途中、左側にコンビニ右側に大型スーパーがあります。  
 78大堀切の向かい側に酒々井ベーカリー(パン屋)がありテラスで休憩できます(コーヒーサービス)。  
 75妙胤寺山門に桜のトンネル、裏の墓地にしだれ桜十数本あります。  
 81愛宕神社 鳥居から社まで約200メートルの杉並木。

\* 引用資料

マップ引用: 酒々井町社会教育課・経済振興課[がいでまっぷin酒々井]

## 5.地蔵院跡～経胤寺コース

### 5 9 酒々井 地蔵院跡 - すい じぞういんあと



真言宗東光寺の末寺と伝わります。本尊は延命地蔵、延宝二年(1674年)に水戸光圀が宿泊したと自身が印した『甲寅紀行』(こういんきこう)の一説に記されています。今は地蔵堂だけが残っています。

### 8 3 上本佐倉 善龍寺跡 -

かみもとさくらぜんりゅうじあと



長延山善龍寺、日蓮宗中山法華末、本尊は釈迦仏・多宝如来、正安三(1303)年、千葉氏の一族である中山法華寺三世日祐上人の開山と伝わります。明治になり、寺は本佐倉の妙胤寺に合併し廃寺となり標柱と墓石がのこるだけです。

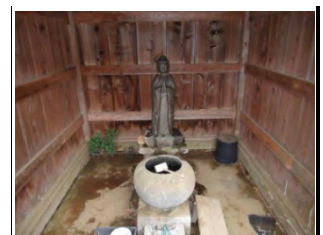
### 7 2 上本佐倉 白山神社 -

かみもとさくら はくさんじんじゃ



上本佐倉字西台にあり、同地区の鎮守となっています。

### 7 5 本佐倉・妙胤寺 - もとさくら みょういんじ



常勝山妙胤寺と呼ばれる。西安元年(1299年)に真言宗の僧侶により建立され、弥勒院と称していたが、後に日蓮宗となり、また、本佐倉城主千葉勝胤の帰依をうけて、祈願所となり、勝胤の「勝」をとって常勝山、「胤」をとって妙胤寺となった。境内には日蓮宗の大信徒であり戦国時代の武将でもある、加藤清正の像が祀られています。お正月には多くの参拝客で賑わいます。

78 本佐倉 大堀切跡

もとさくら おおほりきりあと



本佐倉城跡の外堀で城下町を守るための堀、城の中心から1.2Kmに位置しています。昭和 59(1984)年に国道296号線バイパス建設に先立ち発掘調査が実施され発見されました。幅8m深さ3mの空堀で本佐倉の南地域を横断しています。戦国後期の**大城郭**でしか見られない「**総構え**」と呼ばれるもので**本佐倉城の大きさ**を示しています。

80・81 本佐倉 庚申塔 愛宕神社

もとさくら こうしんとう あたごじんじゃ



本佐倉地区の鎮守、**神仏混合の歴史**を残しており加茂建角命(かもたけつぬみのみこと)、火具土命(ひぐつちのみこと)、**将軍地蔵**を祀ります。鳥居から 200メートルにわたり参道が続き、**奈良時代の寺院跡「長熊寺廃寺」と境内地を共有**しています。社殿の彫刻はケヤキ材を使用した貴重なもの。江戸時代まで隣接した「文殊寺」の支配にありました。**将軍地蔵**とも称されました。



庚申塔



85 上本佐倉 五良神社

ごりょうじんじゃ



由緒不詳、上本佐倉の外宿、上宿、新堤地区の鎮守。祭神は、**鎌倉権五郎**霊。**鎌倉権五郎**の権五郎は、**源義家の家臣**で、義家の奥州征伐、**後三年の役**に従い**豪勇の誉れ高い武将**でした。

87 上本佐倉 経胤寺

かみもとさくらきょういんじ



本堂



宝篋巨塔

如意山経胤寺、**顕本法華宗妙満寺末寺**、本尊は日蓮聖人の**大曼荼羅**。康治二年(1143)、**千葉常胤(つねたね)**が母の**供養**のため**真言宗常胤寺**として建立、大永元年(1521)に改宗したと伝わります。**本堂(町指定文化財)**は**酒々井最古の木造建造物**で延宝3年(1675)の築造。境内の巨石**題目供養塔**と**宝篋(ほうぎょう)巨塔**は**近隣に例を見ません**。

注：「酒々井町観光ナビ (酒々井町ホームページ)」引用・参照  
「しすいの歩き方 (酒々井町商工会)」引用・参照

全体マップに戻る



順路	JR 酒々井駅	～	30分	60酒々井・ 八坂神社	～	8分	68酒々井・ 大鷲神社	～	2分	67上本佐倉・ 芝山道標	～	15分	55向根古谷 光徳院	～	3分
	51根古谷・ 螢の里	～	5分	53根古谷・石仏群 双体道祖神	～	10分	54向根古谷・ 神明社	～	10分	77上本佐倉 清光寺 大銀杏の木	～	20分	64下台・ 麻賀多神社	～	3分
	63酒々井・ 東光寺 庚申塔	～	20分	JR 酒々井駅											

備考 トイレは 63 東光寺近くの酒々井町役場または中央公民館で利用できます。

※ 引用資料

マップ引用: 酒々井町社会教育課・経済振興課「がいどまっぷin酒々井」

ルート参考: 酒々井町教育委員会「わたしたちの酒々井町」

## 6.八坂神社～東光寺コース

### 6 0 酒々井八坂神社



(しずい やさかじんじゃ) 酒々井宿四町(上宿、中宿、下宿、横町)の鎮守、「**天王様**」とも言います。祭神は須佐之男命(すさのおのみこと)、伊邪那岐命(いざなぎのみこと)、市姫神も祀っています。8月16日・17日に例祭が行なわれ、例祭は「**飾り神輿**」と「**揉神輿**」が町内を練り歩くもので勇壮な行事でありました。由緒不明であるが、氏子は**胡瓜が食べられない禁忌**があって、**戦前まで堅く守られていた**ようです。創建は不詳。

社殿はトタン板葺寄棟造(平入)、本殿は覆屋造の中に一間社流造、明神鳥居(明治38年作:朱塗)1基、狛犬はなく、燈籠(1792年(天明11年)作)1対、手水鉢(1795年(寛政6年)作)1基、**神紋**は拝殿屋根のグシに「**左三つ巴**」、賽銭箱はない、境内には老木の切株、石祠(中)などのほか、木祠1棟、石柱など多数が祀られています。所在地は、地方道宗吾酒々井道(R137)酒々井商工会館付近で道路に面して鎮座しています。

### 6 8 酒々井大鷲神社



(しずい おおわしじんじゃ) 酒々井上宿(通称新宿)の鎮守、酒々井宿の入口にある神社、詳細は不明です。新宿が一番新しい宿であり、**宿の繁栄を祈願した神社**と考えられます。祭神は天日鷲命(あめのひわしのみこと)。創建は不詳。社殿(本殿)は一間社流造、鹿島鳥居1基、燈籠(昭和41年作)1対、手水鉢1基、神紋は屋根のグシと鬼瓦に「左三つ巴」、石祠など数基が祀られ、当地方は古代には「麻の生産地」でした。総本社は、元をたぐれば武蔵国の花畑大鷲神社(東京都足立区花畑7、)である。所在地は、地方道成田街道(R296)上本佐倉交差点南側のごく近くで、道路に面して鎮座しています。

### 6 7 芝山道標



(しばやまどうひょう) この道標は、昔の酒々井町上宿の**米屋旅館(今のサイゼリヤ)前**にあったもので**芝山仁王尊参りの一番の目印**でした。「**芝山仁王尊道**」一方には「**東京駒込肴町 石屋八衛門再建**」「**明治十六年三月**」の文字があります。

### 5 5 向根古谷光徳院 一むこうねごや こうとくいん



大佐倉にある曹洞宗**勝胤寺の末寺**、本尊は、**十一面観音菩薩**。かつては**大きな寺**であったと伝わります。本佐倉城内にあり**千葉氏所縁の寺**。現在は、小さなお堂と墓地が残っています。

### 5 1 蛍の里 一ほたるのさと

(ほたるのさと) 「**蛍の里を守ろう会**」と地元により保護されている蛍の池で、**6月上・中旬頃**には**源氏ボタル**、**6月下旬**から**7月末頃**まで**平家ボタル**が見られます。



### 5 3 根古谷・石仏群 一ねこや せきぶつぐん



5 4 向根古谷・神明社—むこうねごや しんめいしゃ



7 7 上本佐倉 清光寺—かみもとさくら せいこうじ



本 堂



大銀杏

亀澤山清光寺、浄土宗智恩院末寺、本尊は善光寺式三尊仏で正安二（1300）年の紀年銘が刻まれています。弘治二年(1556)月峰和尚が開山。天文年中、二世・峰譽無算和尚のとき徳川家康の父廣忠の分骨を安置供養、江戸時代徳川家から御朱印五十石を寄進され、佐倉の城主は将軍の命に依り、廟所の管理をしていました。

6 4 下台 麻賀多神社—ただいまがたじんじゃ



創建は不詳。

印旛沼東岸から南岸にかけて集中して建立されている麻賀多神社（18社）の一つです。

社殿は銅板葺入母屋造（平入）、本殿は千木、堅魚木付の一間社流造、両部鳥居1基、狛犬、燈籠（昭和51年作）各1対、手水鉢（旧が大正13年作、新は年不明）2基、社務所はなく、神紋は屋根のグシと鬼瓦に「左三つ巴」、境内には石祠（右）など数基が祀られています。

所在地は、地方道成田街道（R296）下台T字路交差点付近に鎮座しています。

（村社 例祭日？） 【参照：麻賀多神社（成田市、佐倉市、富里市）】

6 3 酒々井東光寺—しすい とうこうじ



大廣山密蔵院東光寺、真言宗豊山派長谷寺末寺（旧御室仁和寺末寺）、本尊は胎蔵界大日如来（たいぞうかいだいにちによらい）、開基は寛元年中（1243～1247年）知恩院俊誉僧正と伝わります。千葉氏所縁の寺院で佐倉五か寺の一つに数えられていました。元禄年中に（1688～1704年）焼失 再建。境内に幕末の書道家で寺子屋を開き、多くの門人を養成した高幡南溪の墓。酒々井庚申塔（町指定文化財）、大日如来供養塔（町指定文化財）などがあります。

注：「酒々井町観光ナビ（酒々井町ホームページ）」引用・参照  
「しすいの歩き方（酒々井町商工会）」引用・参照

全体マップに戻る

歩行時間 2時間10分  
歩数 11000歩

尾上双体道祖神

JR南酒々井駅から  
**7.まがり家～ハーブガーデン** コース

ここをクリックして下さい



順路	JR南酒々井駅	97 馬橋金毘羅神社	96 まがり家飯沼本家	95 馬橋香取神社	94 馬橋相持院
	～	～	～	～	
	5分	15分	5分	10分	
	98 墨東伝院	104・105 墨・六所神社・古墳	ハーブガーデン	JR南酒々井駅	
	～	～	～	～	
	15分	25分	15分	40分(約4000歩)	

**備考** 96 まがり家は新潟県の旧清野邸を移築した建物と美味しいお酒。隣接する飯沼本家では酒蔵工場の見学もできます。また、11月に開催される新酒祭は必見ですまがり家でお手洗いが利用できます。  
ハーブガーデンからの帰路は東関東自動車道沿いを利用すると最短安全です。  
毎年95馬橋香取神社および104墨六所神社の獅子舞(7月)は必見です。98 墨・東伝院の秋の紅葉は素晴らしいのでぜひ…。

**\* 引用・参考資料**  
 マップ引用: 酒々井町社会教育課・経済振興課「がいとまっぷin酒々井」  
 ルート参考: 酒々井町教育委員会「わたしたちの酒々井町」



## 7.まがり家～ハーブガーデンコース

### 97 馬橋 金毘羅神社 - まばし こんぴらじんじゃ



### 96 酒々井まがり家 - しすい まがりや

飯沼本家に隣接する**酒々井まがり家**は、新潟県の旧清野邸を移築したものです。**周囲の自然と調和した趣のある家屋**の中で、飯沼本家の名酒を味わうことができます。また、2階にあるギャラリーでは、酒々井・その周辺、および千葉県在住の作家作品を中心に広く紹介し、皆様と共に芸術を楽しんでいただけます。**11月に「酒々井新酒祭」がここで開催**されます。



### 95 馬橋 香取神社 まばし かとりじんじゃ



馬橋の鎮守、由来は不詳。この地域には珍しい**香取神宮**が祀られています。祭神は経津主命(ふつぬしのみこと)、他2神。この神社では江戸時代から五穀豊穡、家内安全、悪疫退散を祈願し、**毎年7月第三土曜日に獅子舞が演舞**されます。演目は「芝獅子」「へいそく」「猿獅子」「剣の舞」が伝承されており昭和62(1987)年、**町の指定文化財**となっています。

### 95 馬橋 香取神社 庚申塔 - まばし かとりじんじゃ こうしんとう



香取神社 庚申塔

### 95 馬橋の獅子舞 - まばしのしまい



**町無形民俗文化財**。詳細は不詳ですが、江戸時代から伝承されて、五穀豊穡、家内安全、悪疫退散などの願いをかけて演舞されてきました。現在は、**毎年7月第三土曜日に香取神社で演舞**されています。

## 98 墨・東伝院 - すみ とうでんいん



徳富蘇峰の詩碑

古木山東伝院、曹洞宗、本尊は釈迦無尼仏。寺伝によれば文明十(1469)年に**千葉輔胤(すけたね)の創建**、永正元(1504)年に成田市台方の**超林寺五世松岩周鶴和尚が再建**したと伝わります。境内には室町時代前期の下総板碑、明治から昭和初期にかけての言論界の重鎮、**徳富蘇峰の詩碑**があります。

## 104 墨・六所神社 - すみ ろくしょじんじゃ



墨区の鎮守、**奥州塩釜神社**の神を**栗飯原(あいはら)文二郎**という武士がもたらし、この神を祭ったのが始まりといわれています。**栗飯原は千葉氏の有力な一族**で応永14(1407)年頃、墨地区の領主でありました。祭神は天御中主命(あめのみなかぬしのみこと)、伊弉諾命(いざなぎのみこと)、他9神。また墨地区に伝わる**獅子舞は享保19(1734)年、六所神社新築の奉納が始まり**とされ、演目は「足揃え」・「芝獅子」・「猿獅子」・「剣の舞」が伝承され、古風な形式を残す獅子舞として昭和42(1967)年、県の指定文化財となっています。

## 104 墨の獅子舞 六所神社

すみのしまい ろくしょじんじゃ



**県無形民俗文化財**。1734年に墨村の鎮守六所神社の社殿を新築し、その遷宮式に奉納するため、出**羽国羽黒山から師を招いて伝授を受けたのが始まり**と伝えられています。**毎年7月15日**に六所神社と墨区长宅の2カ所で演舞されています。

## 96 しすい・ハーブガーデン

1800平方メートルの敷地に、**150種類以上のハーブを植栽**したハーブガーデン。春から秋の花盛りの季節にはたくさんの愛らしい花々が爽やかに香る風に揺れています。ガーデン内のショップでは苗や加工品の販売、ハーブティーのサービスもあります。

ランチに**スパイスの効いた「カレー」**は如何ですか？



注：「酒々井町観光ナビ(酒々井町ホームページ)」引用・参照  
「しすいの歩き方(酒々井町商工会)」引用・参照

[全体マップに戻る](#)

# 酒々井町指定文化財一覧

## 国指定

番号	種別	名称	指定年	見られる時期・場所・他
1	史跡	本佐倉城	H10	常時

## 千葉県指定

番号	種別	名称	指定年	見られる時期・場所・他
1	彫刻	清光寺 銅像阿弥陀如来及び両脇侍立像	S56	
2	彫刻	長福寺 木造阿弥陀如来座像	S62	毎年11月9日御開帳
3	彫刻	長福寺 木造持国天・多聞天立像	S62	毎年11月9日御開帳
4	工芸品	浄泉寺 鑄銅雲板（応永22年在銘）	S52	
5	古文書	天正検地帳（下総・印東庄中台郷御縄打水帳）	S57	
6	民族	墨の獅子舞	S42	毎年7月15日 六所神社
7	天然記念物	上岩橋貝層	S50	常時
8	無形文化財	天真正伝香取神道流の型	H16	

## 酒々井町指定

番号	種別	名称	指定年	見られる時期・場所・他
1	建造物	経胤寺 本堂	S52	常時(屋内に入るには許可を要)
2	建造物	勝蔵院 本堂	S52	常時(屋内に入るには許可を要)
3	彫刻	吉祥寺 木造十一面観音立像	S46	
4	彫刻	浄泉寺 銅造十一面観音座像	S46	
5	彫刻	浄泉寺 木造正観音立像	S46	
6	彫刻	勝蔵院 木造不動明王座像	S46	
7	彫刻	松雲寺 木造阿弥陀如来座像	H3	格子越しに常時見られます
8	彫刻	新光寺 木造童子立像	H3	33年毎に開帳?2032年4月か?
9	古文書	浄泉寺 文書二通	S46	
10	古文書	島田長右衛門家文書	S52	
11	古文書	慶長九年検地帳（小神村御縄打水帳）	H3	
12	古文書	慶長九年検地帳（馬橋郷御縄打水帳）	H3	
13	古文書	慶長九年検地帳（上岩橋郷御縄打水帳）	H3	
14	歴史資料	板石塔婆（永徳三年在銘）	S46	
15	歴史資料	石造追分不動道標	S46	常時
16	歴史資料	佐倉七枚大絵図	S52	
17	歴史資料	酒々井駅古松碑	S52	常時

次ページへつづく

**酒々井町 指定**

番号	種別	名称	指定年	見られる日・場所・他
18	歴史資料	新光寺 柏木の庚申塔(正徳二年在銘)	S52	常時
19	歴史資料	本佐倉の庚申塔(享保十年在銘)	S52	常時
20	歴史資料	東光寺 酒々井の庚申塔(正徳元年在銘)	S52	常時
21	歴史資料	東光寺 大日如来供養塔(寛文十三年在銘)	S52	常時
22	歴史資料	飯積村道標(寛政十一年在銘)	S52	常時
23	歴史資料	新光寺 柏木の六地藏	H3	常時
24	絵画	勝蔵院 紙本著色鬼子母神図(附 紙本著色日蓮上人図及び法華曼陀羅二幅)	H11	
25	工芸品	勝福寺 鱧口	S62	
26	民族	上岩橋の獅子舞	S46	毎年4月第一日曜日 駒形神社・菊賀神社・上岩橋大鷲神社
27	民族	馬橋の獅子舞	S52	毎年7月第三土曜日 香取神社
28	民族	下宿麻賀多神社の山車人形及び山車	H19	毎年10月第二土曜日下宿麻賀多神社
29	史跡	カンカンムロ横穴群	S46	常時
30	天然記念物	伊豆神社 飯積の大杉	S46	常時

**国 指定**

**千葉県指定**



本佐倉城



清光寺 銅像阿弥陀如来  
及び両脇侍立像



長福寺 木造阿弥陀如来座像



浄泉寺 鑄銅雲版



墨の獅子舞

**千葉県指定**

**酒々井町指定**



上岩橋貝層



経胤寺



吉祥寺 木造十一緇観音立像



松雲寺木造阿弥陀如来座像



新光寺 柏木の庚申塔

**酒々井町指定**



新光寺 柏木六地藏



吉祥寺 鬼子母神図



上岩橋の獅子舞



下宿麻賀多神社の山車人形



飯積の大杉